

団体名		公益財団法人 武蔵野市福祉公社						
①	指標名	権利擁護事業の利用者増			目標値	320	実績値	293
	過去の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	達成率	91.6%	達成状況	未達成
	(単位: 人)	318	306	304				
	取組内容	・市の成年後見利用促進基本計画に基づき市が設置した中核機関を市とともに運営し、成年後見制度の周知・広報として、講演会、学習会及び相談会を開催した。 ・市内有料老人ホーム7か所を訪問し、施設長・相談員・ケアマネジャーに法人後見についてPRを実施。引き続き、老いじたく講座や広報などにより事業のPRを行った。 ・業務の平準化を目的に業務マニュアル、社会資源リストの整備を実施した。						
	一次評価	権利擁護事業について、つながりサポート事業は、年々利用者が減少している。より確かな根拠に基づいた事業とするため、「つながりサポート事業見直し検討委員会」を立ち上げ、入退院と没後支援に特化した新事業のモデル事業を実施する。						
二次評価	利用者は昨年に引き続き減少したものの、計画に基づき着実に権利擁護事業を実施されていることは評価する。権利擁護事業の利用者は減少傾向にあるものの、成年後見制度の利用者は全国的に増加傾向にあり、本事業へのニーズは今後とも高まると予測されるため、引き続き市民や関係機関に対するPR活動を強化していただきたい。							
②	指標名	職員の労働生産性の伸び率（前年度比）			目標値	2.00%	実績値	-10.8%
	過去の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	達成率	-	達成状況	未達成
	(単位: %)	▲1.0	▲6.3	▲18				
	取組内容	・「収益向上委員会」を設置し、収支改善に取り組んだ。 ・人材育成基金を設立し、奨学金返済支援手当、資格取得支援などに充当する。「TOKYO働きやすい福祉の職場宣言」を獲得し、働きやすさとやりがいをアピールし、人材確保を図った。						
	一次評価	介護保険事業において、通所介護事業、訪問介護サービス事業ともに収益が減少した。「収益向上委員会」を立ち上げた。令和5年度末頃から成果が見え始めたが、令和5年度総体の結果にはつながっていない。高齢者総合センターの大規模改修、公社本部事務所の建替のための移転を機に、ペーパーレスや業務改善を一層進める。						
二次評価	介護保険事業の収益減に伴い、労働生産性の伸び率については昨年を下回る結果となった。効率的、効果的な取組みを期待したい。							
③	指標名	人材育成基本方針に基づく人材の育成及び人材の確保			目標値	職員研修計画に基づく研修の実施	実績値	方針の運用
	過去の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	達成率	100.0%	達成状況	達成
	(単位:)	方針の運用	方針の運用	方針の運用				
	取組内容	・人材育成基本方針に基づき作成した研修計画に基づき、人材育成を行った。 ・令和5年度は、大学新卒者を2人、専門職6人、一般職を1人採用し育成を行っている。 ・資格助成制度を活用して、16名が資格の取得または更新し、専門スキルを向上させた。 ・階層ごとに必要な能力を身につけるため、階層別研修に14人が参加した。						
	一次評価	令和5年度は、大学新卒者を2人、専門職6人、一般職を1人採用し、研修計画に基づき育成を行っている。令和6年度大学等新卒者採用に向けて、採用試験を実施し、3人に採用内定を出したところである。専門職についても引き続き、採用を行っていく。						
二次評価	計画に基づき適切に職員研修が実施されていることを評価する。計画的な職員の採用を継続していくにあたっては、職種に応じて、適切な時期に研修を実施することにより、職員の定着率の向上にも期待したい。							